

地域の人も、スタッフも、まちも
それぞれの夢が実現できる苅田町立図書館を目指して

『ひとを集める図書館』
～図書館の特色を活かしたアプローチ～

新たな視点 図書館からできる町の活性化

苅田町立図書館 地域連携・営業・企画担当館長 逆井 健

<2018.7.3 図書館情報交流会in大分にて>



話者プロフィール

本名:逆井 健(さかさい けん) 山口県下関市在住/1967年(昭和42年)6月25日(日)/男/かに座/O型
資格・免許/中学校教員(社会科)・経済産業省街元気リーダー・普通自動車一種・大型自動車一種・小型船舶1級特種(営業免許)
最終学歴 平成5年3月 下関市立大学経済学部卒

商業系

平成元年3月
下関市立大学生生活協同組合理事就任
↓
平成6年4月
タウン情報しものせき創刊
平成7年3月
ローソン下関秋根本町店創業(15年間)
↓
↓
平成18年5月
関門観光サービス合同会社設立
↓
↓
平成21年8月
グリーンモール商店街振興組合設立
事務局長就任
↓
平成23年4月
三原市中心市街地活性化協議会
タウンマネージャー
平成27年4月
岩国市中心市街地活性化協議会
タウンマネージャー
↓
地域・商業活性化アドバイザー(現)
↓

情報系

平成6年4月
タウン情報しものせき創刊
↓
平成10年7月
株式会社コミュニティエフエム下関
設立参画、株主兼編成部長
↓
↓
F M アクア パーソナリティ
現在、週1番組1時間担当
↓
平成21年11月
F M 北九州 パーソナリティ、現在臨時
↓
↓
↓
↓
↓
↓
↓
↓
↓
↓

地域づくり系

平成5年4月
財団法人下関21世紀協会嘱託職員
↓
北九州市門司区の門司港地区を活動基盤とする市民有志の地域づくり団体『門司港コミュニティ』事務局長として、13年間にわたって自立型地域づくり活動をサポート。『実践することは美しい』の合言葉の下、『リーダーの輩出』、『ノウハウの共有』、『自立型事業経営』を活動方針にした地域づくりを推進し、相互支援するコミュニティを形成・維持することで、結果、自主独立運営のできる継続イベント主催のリーダーや団体を40団体以上創出することができ、地域活性化の重要なソフト事業形成を果たしています。現在は、このノウハウを門司港のみならず黒崎地区(北九州市)、荏田町などに広げて実践展開中。
◎地域活性化イベント開催
主催者として過去240件以上
バル・グルメフェス・シンポジウム
マルシェ・空き店舗活用など
◎NPOソーシャルビジネス展開
『門司港鉄道おもちゃ共和国』事業
↓

図書関係

平成28年5月
福智町地域資源活用アドバイザー
↓

とあることから、この業界と荏田町立図書館に興味を持ち公募を経て、平成29年4月 荏田町立図書館館長着任



苅田町立図書館と苅田町



○福岡県北東部 京都(みやこ)郡に属する町
北に北九州市、南に行橋市と隣接

○人口 約37,000人(昼間人口130%)
外国人居住率は福岡県内で随一の約3%

○広大な埋め立て地に、日産自動車、トヨタ自動車の2大自動車会社の工場、宇部興産、三菱マテリアル、麻生セメントなどの3大セメント工場、九州電力発電所などを有する工場立地型の町

○小学校6校・中学校2校・工業高校1校・工業大学1校

○福岡県内唯一の地方交付税不交付団体であるが
財政は火の車で、平成29年度まで7年間の緊縮型財政

○平成28年度末で、図書館本館1・分館3の内の分館2館を閉鎖

○苅田町立図書館本館は平成2年開館、その後、分館を拡充
コミュニティ型図書館として、鳴り物入りで開館
BM1台
資料費2,200万円／年から、現在は750万円／年
現在、町生涯学習課の担当で直営運営
町職員の配置はなく、館長(特別嘱託)1名以下、嘱託(常勤)及び一般非常勤職員、再任用職員の計17名で運営

開館時間 9:30~17:30(木・金は19:00まで)

休館日 月曜日(祝日の場合、火曜に振替)他、館内整理日
学校の夏休み等長期休暇中は月曜日も開館

開館日数 年間293日程度

年間利用者数(平成29年度) 約83,000人

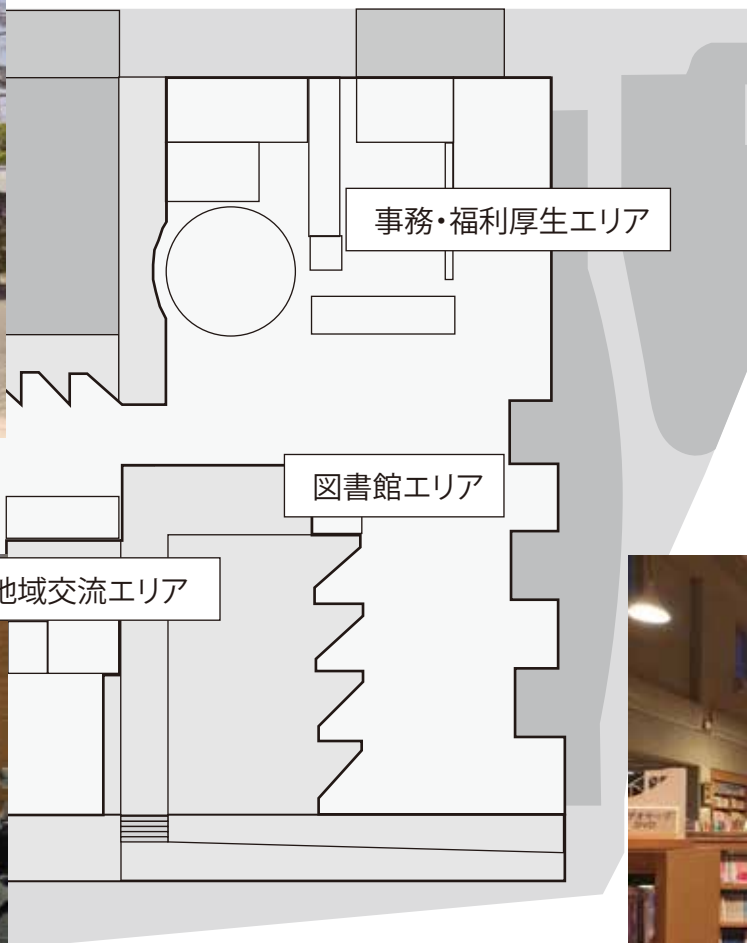
年間総貸出冊数(平成29年度) 約345,000冊

貸出密度(平成29年度) 約9.5冊／人

年間来館者数(平成29年度・推計値) 約197,000人

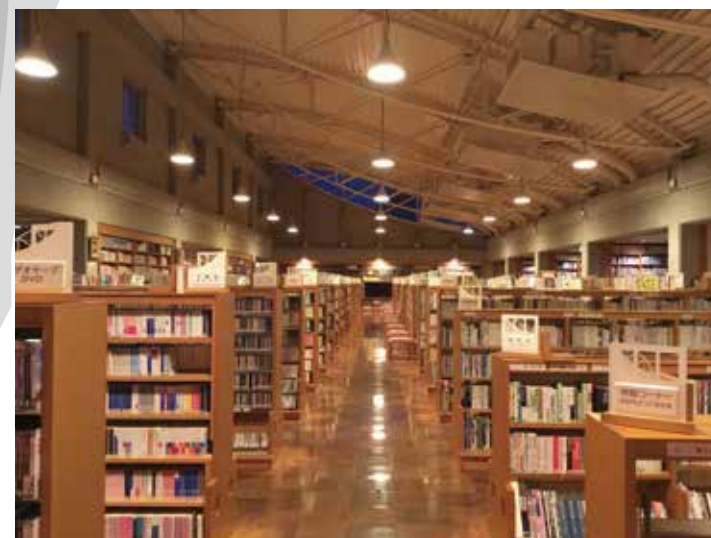


荻田町立図書館はこんなところ



荻田町立図書館は『本のある広場』を標榜して、書架や閲覧コーナーだけでなくＡＶホールや小会議室、展示コーナー、パティオなどを備えたコミュニティ機能を有する図書館です。建築当時では、国内でも有数の建物として開館しました。

利用者をはじめスタッフも含め、単に資料に触れるだけでなく、人と知識がつながり、人と人がつながり、情報が人やまちのにつながる場として活用してもらうことで、より充実した地域づくりの場所となっていくます。





荏田町立図書館の秘密のパネル展より 【2017年 5月】

図書館の展示コーナーを使い図書館まつりにあわせて、地域の人が荏田町立図書館へ興味関心を持ってもらうために、あたらめて図書館の話題を提供するパネル展を開催。

<ポイント>

実は何も新しいことではなく、図書館の特徴になるようなこと、誇りに思ってもらえるようなこと、ちょっとしたネタになるようなことを、パネル展というスタイルにし、興味・話題になりそうな紹介方法にただけのもの。





苅田町立図書館活性化基本方針 【平成29年7月 館長起草】

営業系＝館外対応施策(館長活動・地域連携など)の拡充

製造・総務系＝館内対応施策(スタッフスキルなど)の進歩

①来館者数増アップ

貸出利用でなくとも、図書館に興味を持って来館してもらう来館者数の増加が基本。

＜施策＞
来館機会の増加

＜具体的対応策＞

- ①イベント・展示会等の開催増
(※制度変更も必要)
- ②館内諸施設の活用
(パティオ・中庭・デッキ
・朗読室・ロビーなど)
- ③周辺施設の連携活用
(三原文化会館・駐車場・公園)
- ④図書館の魅力発信・興味醸成
(HP・FB・広報など)
- ⑤マスコミリリースの活用

②利用券保有率アップ

来館者の中で『としょかん利用券』を保持している人の割合を高めていくことが必要。

＜施策＞
利用券を作る機会の増加

＜具体的対応策＞

- ①利用券の周知
- ②作成キャンペーン展開
(※企業や団体活用など)
- ③特典付き利用券企画
(町内事業者などの協力)

＜指標・目標＞
対人口当たりの発行枚数
現在55.4%→目標60%

③貸出利用者数アップ

利用券保持者の中で実際に本をかりる人の割合を高めていくことが必要。

＜施策＞
資料を利用してみる機会の増加

＜具体的対応策＞

- ①様々な利用方法の周知
- ②インターネット利用の推進
- ③本・資料への興味の醸成
- ④図書館のポテンシャルの発揮
- ⑤レファレンス能力の向上

＜指標・目標＞
現在約96,000人／年
↓
2室閉館があっても減少なしで維持したい

④貸出冊数アップ

本をかりる人に、さらに1冊でも多くの本を借りてもらうことが必要。

＜施策＞
より多くの資料を利用したくなる機会の増加

＜具体的対応策＞

- ①特設・テーマなどの提案を活かし複数の資料に触れる
- ②資料・本への興味を持ってもらう。
- ③参加型読書企画の展開
- ④読書手帳・スタンプカードなどの展開

＜指標・目標＞
現在約41万冊／年
↓
減少なしで維持したい

＝貸出
総数



↓
商店街活性化、商業活性化と同じ
固定客は減っていく中で、いかに新規顧客を獲得するかを考える

＜地域全体による読書環境充実活動＞

＜環境要因対策＞

- ①本のある生活空間に触れる
(まちライブラリー展開・地域読書推進など)
(学校図書館の活用・町立図書館との連携)

- ②図書館能力の向上
(図書館運営の専門家育成
・長期的スタッフの確保)
(※制度変更も必要)

＜地域や行政内部で存在感を認められるような活動＞

- 人口一人あたりの年間貸出冊数
『9.25冊(平成28年度)』町村立平均＝5.7冊
※全国平均より上ですが、当館過去最高15.2冊に比較すると悲劇的数字。
図書費半減による新刊購入数の激減。さらに、北館・小波瀬館閉館の影響が今年度は予想される。また来館者を増やすことで、新刊以外の資料への興味を醸成させたり、イベント等との連携での蔵書活用などへ誘導する効果もある。

- 行政効果予想
貸出総数×平均資料費1,717円が家計の書籍購入費に投じられなかった総額。総数約41万冊を乗じて約7億300万円。運営費約9千万円を引いて、いわゆる年商は6億1千万円。館運営予算の6.8倍の貢献。

上記①～④のそれぞれの
項目のアップをはかることで、
総体として冊数増をはかる

総貸出冊数アップ

各項目の相乗効果が、総貸出冊数となり、この数字が貸出密度の基本となります。



基本方針に基づき、待ちの図書館から攻めの図書館への進展

外（地域）とつながる大切さ

新規図書館利用者の獲得

（目標）より多くの地域の人に来館・利用してもらいたい



現状の分析からの基本方針の策定＝誰とどうしていくのかの方向性



地域の人とのつながり・つかえる図書館としての情報発信



実際に地域の人とつながるために地域へ出ていく



実現したいことへの『場』と『機会』提供・必要なサポート



地域住民の夢の実現・利用者の満足への貢献



行ってみたくなる図書館・利用したくなる図書館

内（スタッフや関係部署）がもりあがる大切さ

図書館としての基本サービスの提供

（目標）スタッフがいきいきと活躍し、関係部署といい連携をとりたい



現状の分析からの基本方針の策定＝どこを目指していくのかの共通認識



自分たちの職種や作業・業務の位置づけと重要性の確認



それぞれの夢の実現への意識高揚とモチベーションのアップ



実現したいことへの『場』と『機会』提供・必要なサポート



スタッフや関係部署の夢の実現・向上心への効果・成果へのフィードバック



上昇志向・進歩するモチベーション



【実例】 2017年度に従来のものに追加実施した苅田町立図書館イベント

■ 従来からの図書館イベント（主催表記のないものは図書館主催）

- おはなし会【月例】（読書ボランティアグループ・図書館員）
Jason's ストーリータイム／主催：Jason's ストーリータイム
はらぺこあおむしのおはなし会／主催：はらぺこあおむし
おはなし会・にじいろスマイル／主催：にじいろスマイル
おはなしハンパティのむかしばなし／主催：おはなしハンパティ
図書館員のおはなしタイム
- 図書館まつり ブックリサイクル／演奏会／おはなし会 等
- 夏休み図書館シネマ
- 秋の読書週間まつり ブックリサイクル／演奏会／おはなし会／映画会
- クリスマス映画会
- ゆめたいむ クリスマスおはなし会／主催 ゆめたいむ
- 新春★図書館福袋&ふくびきプレゼント
- 展示コーナー【恒例】（各グループ主催）
『さつき山野草展』／主催：緑草会
善立寺保育園製作七夕飾り展示・短冊に願いを
『会員及び学童の七夕展』／主催：苅田書道会
『平和祈念パネル展』
『パッチワーク・キルト展』
夏休みボランティア講座展示／主催：社会福祉協議会
『白土会 展示会』／主催：白土会
読書リーダー製作の図書館POP展示会
北彩会絵画展『北彩会展』
『和光七夕展』／主催：和光塾
『人権についての紹介コーナー・パネル展』／主催：苅田町総務課
『ザ・書 グループ展』／主催：自遊書道会
『水彩画展示会』／主催：苅田水彩
京都郡小学校書写作品展／主催：京都郡小学校研究会
『新春会員展』／主催：苅田書道会

■ 2017年度追加の図書館イベント（主催表記のないものは図書館主催）

- ミンダナオ民族舞踊公演
- 新米館長プレゼンツ『苅田町立図書館の え、ほんと!?』パネル展
- 苅田町観光協会 総会記念講演／主催：苅田町観光協会
- 児玉美紀イラスト展『今度は、図書カンダっ』／主催：個人
- 苅田町立図書館ワクワク教室『見て聞いて作っちゃう ぴっかりホタルんるん』
- ホタルワークショップ巨大ホタル絵画展示
- 苅田初『一日限りのトンガ博覧会』／主催：苅田トンガ博実行委員会
- 読書感想文の書き方講座『今年の感想文は夏休み前半で片付ける!』
- 苅田町立図書館ワクワク教室『プラモデルを作ろう』
- 九州最大級『ダンボール迷路で図書館クイズ』
- Pepper がやってくる／主催：株式会社BCC
- 読書感想文の書き方 フォローアップ講座
- 夏休みとしょかんシネマ・怪談映画『学校の怪談まつり』
- 図書館から"ななつ星"に手をふる／主催：ななつ星歓迎プロジェクト
- ママのためのブックタイム／主催：苅田町総務課
- マザーグース20周年記念交流会『シェアリングDAY』／主催：マザーグース
- かんだハロウィン／主催：Jason's ストーリータイム
- 『苅田町立図書館の秘密パネル展2』
- 図書館総合展 キャラクターグランプリエントリー／パシフィコ横浜
- 図書館前マルシェ・カーブーツ苅田／主催：ハッピータイムマルシェ
- 講演会『劇映画マニアに伝えたい』／主催：上田馬の骨
- 『フォーミュラカー展示』・地域連携パネル展／主催：西日本工業大学
- ななつ星に手をふる・アゲイン／主催：苅田ななつ星歓迎プロジェクト
- 『蔵出し鉄道資料展』『ある日の日豊本線パネル展』
- 東京オリンピック・パラリンピック フラッグツアー／主催：福岡県
- 認知症セミナー
- 立川談慶新春独演会
- 九州のひなまつり観光ポスター展
- ブックリサイクル・図書館クイズ（西部公民館まつり同時開催）
- 『苅田・鉄の力』展／主催：ななつ星歓迎プロジェクト
- 苅田町立図書館美術館
- 図書館へ行こうトークRKB龍山康朗講演会



【実例】 2018年度に従来のものに追加実施(予定含む)する苅田町立図書館イベント など

■2018年度追加の図書館イベント(主催表記のないものは図書館主催)

- 京築交通安全パネル展
- 春のパンまつり
- 図書案地域連携促進講演会 『ことば蔵』綾野館長
- 苅田町立図書館交流会
- 新米館長プレゼンツ『苅田町立図書館の秘密』パネル展
- 図書館deわくわくサイエンス『はやぶさ2を知る!』
- 図書館deわくわくサイエンス『県立青少年科学館出張教室』
- 東京オリンピック・パラリンピック キャラクターフラッグツアー／主催:福岡県
- 読書感想文の書き方講座
- 九州最大級『ダンボール迷路で図書館クイズ』
- 図書館きもだめし／主催:子供会育成会・実行委員会
- ありがとう『ゆふいんの森』図書館前ラストラン／主催:ななつ星歓迎プロジェクト
- 図書館前マルシェ・カーブーツ苅田／主催:ハッピータイムマルシェ
- 認知症セミナー
- ブックリサイクル・図書館クイズ(西部公民館まつり同時開催)
- 苅田町立図書館美術館
- 図書館婚活
- 小・中学校向けチラシ配布『苅田町立図書館スーパードラマ夏休み』
- 中学校出前図書館トーク
- 図書館シネマ【月例】
- 民間ボランティア講師マッチング事業
苅田町歴史講座『苅田邪馬台国説』
図書館資料から読み解くガンダムの世界

(他、続々登場予定、請うご期待)

■苅田町などとの連携で運用に関する制度改正などへの取り組み課題

【条例改正】

- 館内施設利用に当たっての受益事業者使用不可条項の撤廃
外部団体によるコンサートやセミナー、イベント主催などを活発にし、主催者の自立事業で来館者増につなげる

【制度改正・整備】

- 運営費増加施策
収益事業・グッズ販売、寄付金・遺贈の受け入れ、図書館による出版事業等
- 図書館ネーミングライツの検討
- 各種スポンサー制度の拡充
イベントスポンサー、チラシ広告スポンサー、しおり、館内グッズスポンサーなど

【方針に基づく活動拡充】

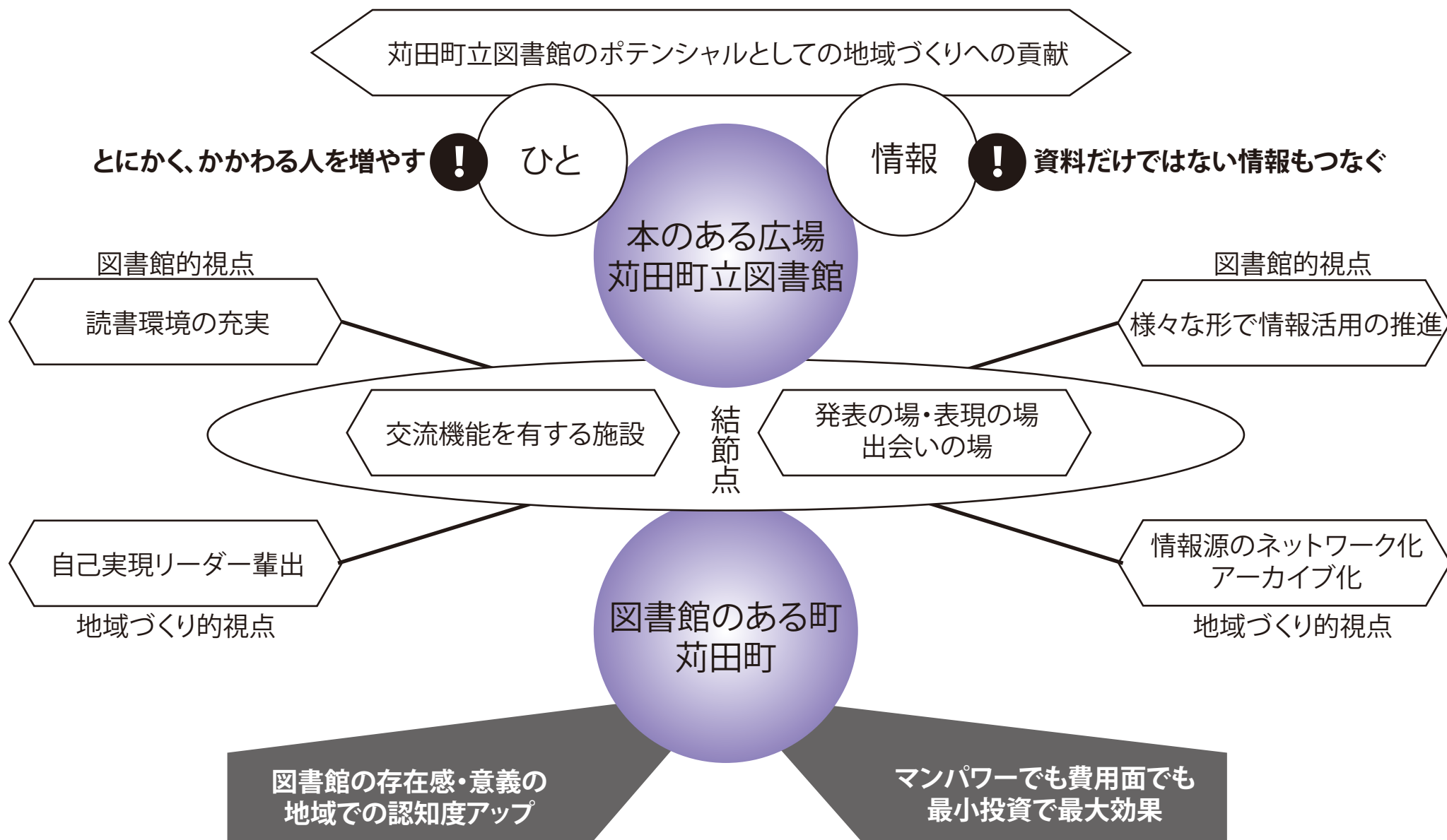
- 図書館利用促進キャンペーンの展開
企業や学校、地域などに呼びかけて図書館をPRする活動
としょかん利用券登録者増のために、町内事業者との特典連携
- 図書館を盛り上げる町民有志とのネットワークづくり(図書館応援団など)
- 図書館からの学校まわり、企業回りまわり連携の推進(恒常的なおでかけ館長)
- 地域に役立つ図書館活動の推進(地域連携へのノウハウ提供等)
- 外部協力者を活用する移動図書館車の運行拡大やまちライブラリーの展開等

【図書館機能の拡充・図書館スタッフのスキルアップ対策】

- 嘱託職員や一般非常勤職員の年限による採用制限撤廃〔既決〕
- 出張費・参加費などはないが勤務扱いになる講習会・研修会への参加拡大〔既決〕
- 地域資料を重点としたデジタルアーカイブ化の推進
- 図書館本館を中心とした子ども読書活動推進計画の展開(ハブ機能)
- 西館の休憩時間、本館の月曜開館、夜間のイベント使用開館などの検討
- 閉鎖した2分館復活とBMの運用拡充の可能性調査
- 京築地区図書館スタンプラリー『図書館朱印帳』
- 図書館でこんなことしたら?のアイデアミーティングの開催



地域と連携すること、外部の力を活用したイベントをすることの意義と効果





【参考】 図書館がサポートできる地域づくり＝リーダー輩出と実践の場とノウハウの提供 【“禁断”の参考シート】

基

地域づくりボランティアの3つの原則

- ボランティアは『志願兵』＝自らの意志で行動する
- 【誰でもできる】 どんな人でも意志があれば、『立場』で動員しない
- 【何でもできる】 趣味・自己満足～ソーシャルビジネスまで
- 【いつでもできる】 明日からでも、今日からでも、とりあえずやってみられる

明日からでもできる簡単地域づくり＝リーダーづくり

夢の実現、自己実現したい人を図書館が結びつける

2

実現のための3つのポイント

- 大義名分のためにするより、自己実現のためにする
- 【やりたいことだけする】
好きなことだから上手い、苦労とおもわない、続く
- 【やりたい人とする】
仲間を巻き込みその目的のチームを結成
分裂歓迎、複数乱立歓迎、やめた歓迎
- 【やりたくなったらする】
皆さんの『できる』を少しずつ集めて大きな輪にする

3

実現のための3つのステップ

- 1、やりたいことがあったら集まる
(飲み会、キックオフ、顔合わせ、悪巧み会議)
- 2、計画【共謀】する(特に実施日時を決める)
- 3、実践する
合言葉は『実践するものは美しい』
小規模でもよい → パージョン0を推奨
頻繁にやる → P D C A が早い

4

実現に向けて押さえておきたい3つの方針

- ①【新事業には新リーダー】
地域ピラミッドは衰退の形
- ②【ノウハウはすべて公開】
公開すればするほど自分が楽になる、みんなができる
企画の作り方、マスコミリリス、機材貸借、補助金獲得
- ③【お金の話を最初から】
入と出の策は多くない＝0ベースで考える、非下請け化

大事なのは挑戦・実践の『場』＝荻田町立図書館のもう一つの資産活用

実1

①リーダーになる人の3つの恐怖

- (1) 仲間は居るのか?
- (2) やり方は上手くいくか?
- (3) お金はどうするのか?

➡ 反対に言えば、この恐怖が解消できればOK ➡

- (1) 3人寄れば文殊の知恵、6人の侍
- (2) ノウハウを得るノウハウ
- (3) まちづくりは0円ベース

実2

②ノウハウを得るための3つの方法

【真似る】
パクる、学ぶ＝『3回やったらオリジナル』

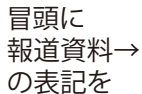
【オタクを活用する】
つまりは、得意な人・専門家・技術屋・こだわり派など
組織運営や人集め、広報、会場運営、書類作成なども

【SNSを活用する】＝FACEBOOKの活用
仲間を集める、助けを呼ぶ、情報を拡散する

実3

③いちばん大事なお金の話

- 【収入の道】
- ①会費＝開催費用をメンバーで分担する
 - ②協力金・負担金＝利益を得る人から負担してもら
 - ③直営収入＝販売やサービス提供で直接収益を得る
- ＋④補助金・寄付金
- 【補助金・助成金活用】
試しに、最初に、みんなのためにの時にだけ活用
- 【利益還元】(プロボノ)
無償技術に対し、場や労力の提供に対し、まちに対し



見出しや→
本文は
記者の
つもりで
記事風に→
記載

記者さん宛に記事には
ならないが秘めたる
思いなどを伝え、事前
告知でとお願いする
※重要 →

発信 本のある広場
荻田町立図書館

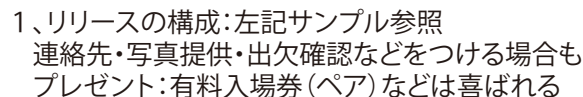
苅田町立図書館に九州最大級のダンボール迷路登場

迷路中の3箇所のポイントでクイズを解いて認定証ゲット！

3問のクイズの答えの正解数を記入した認定証は図書館カウンターでもらうことができます。

主 催●荻田町立図書館

フェイスブックページ『荻田町立図書館』内のイベント告知用画像・写真はご利用いただけます。



記事制作時間(夕方15時~17時)を意識する

②担当記者:名刺を交わした記者へは直接にメール・記名FAX

取捨選択の能力が高く、様々な情報との関連付けなどの可能性もある。



【実例】 情報発信のためにツール活用の例

SNSを活用

苅田町立図書館では、現在はフェイスブックのページをホームページにもリンクさせて運用中。アップや更新、表現方法や内容については館長一任。事前の許可は不要という体制で運用しています。

ポイントとしては

- ①FBの特性を活用したアップ方法やタイミングを考える。
- ②図書館として記載するが、回答やコメントの内容には逆井（館長）として。
- ③図書館のフェイスブックページに掲載したものを、地域の有力グループなどにシェアすることで拡散

【お願い】

苅田町立図書館のフェイスブックページにぜひ[いいね!]を。

館長・逆井への友達リクエストの際には、必ずメッセージを添えてください。

チラシ・フライヤーデザイン

一般的な図書館チラシへのアドバイスとしては、特に専用ソフトを使う必要もなく、ワードでもエクセルでも構わないので以下の4つに注意を。

- 文字の大きさはジャンプ率を意識すること
- 正式タイトルよりキャッチコピーの方が重要
- 『オファー』をする文言を入れる
- 世の中のいいチラシをまず真似る

町内での配置場所についても、利用者にアンケートやヒアリングなどでアイデアをもらう。

スタッフ向けに用意するQ & A事例

窓口対応なら任せてくださいというスタッフのために用意するQ & Aの例。マスコミリリースやフェイスブックへの告知が始まるまでに、①企画書、②チラシ、③リリース資料、④このQ & Aの④点セットをつくり、①受付用、②事務所掲示板用、③ランチルームの3箇所に配置。

苅田町立図書館わくわく教室

小学生・中学生対象『夏休み読書感想文書き方講座』

受付Q & A（問い合わせがあった場合は以下のように返答・対応してください）

Q：日時・場所は？

A：平成29年7月26日（水）10:30～11:30／受付10:15／図書館AVホール

Q：内容は？

A：読書感想文に向いている本の選び方、書き方のコツについての紹介
（講師：苅田町立図書館前館長 元小学校校長 沖永圭子先生）

Q：参加対象

A：中学生及び小学生（小学生低学年の場合は引率者1名で2名まで）／先着24組
2名は、兄弟でなくても、ご近所の子どもでもOK。

家族内であれば小学生が3名の場合でも可、幼児を抱えて小学生2名と一緒に可
保護者とは、しっかり面倒見られるようであれば兄弟に限って、中学生でも可

Q：持ってくるものは？

A：筆記用具・すでに決まっている本があればその本・水筒など

Q：申込み方法

A：申込書・FBメッセージ・電話 のいずれも可
ほぼ同時に24組になった場合は、24組をオーバーしても受付

Q：個別相談はできる？

A：当日の講座終了後に同会場でできます。

また、一旦ある程度書いてみたものを相談したい場合は、8月23日（水）13:30～15:30の間に、小会議室で個別に相談できます。

個別相談の案内は、書き方講座の際に受付票をお配りします。その後、申し込みは図書館へ。また受付票が出回った後は、講座を受講していない人が個別相談の予約をするのも可能。ご予約はお早めにとご案内します。

Q：その他

A：館長判断